4. 木造薬師如来坐像

■指定日

昭和45年3月20日

種別

兵庫県指定有形文化財 彫刻

年代

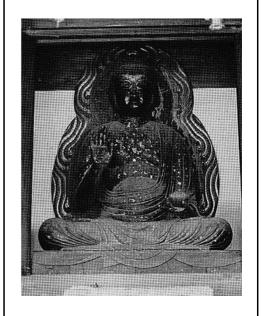
平安時代

所在地

朝来市和田山町岡田

■所有者

法宝寺



内容

法宝寺の本尊で33年ごとに開帳される秘仏。左手に薬壺をもち、右手はひじを曲げて施 無畏印を結ぶ。堂々たる坐像である。寄木内刳、漆箔である。螺髪は彫出、白毫は失われ、 その痕跡だけを留めている。

丸顔に伏目といった藤原彫刻の特徴を備える一方で、頬の肉づきに一種の張りがある。ま た、目鼻の造形も整わない。ここに地方味が表れているといえる。同様なことは、流麗に刻 出されているとはいえ、完全には洗練化されていない衣文にも指摘することができる。とに かく、藤原時代の地方作品として注目されるものである。